

令和2年度 亀山市歴史博物館 講座のお知らせ

古文書講座

講座名	日程	対象	形式	内容	持ち物
古文書解読基礎講座	第2日曜日 初回：5/10	どなたでも	講座形式	『くずし字解読辞典』の引き方から始め、実際の古文書を一文字ずつ引きながら、古文書を読み解いていきます。	歴史博物館に所蔵する古文書の中で、亀山市に関係する、江戸時代の古文書を、一文字ずつ、くずし字解読辞典を引きながら読み解いていきます。
読む・聞く ・読み解く、 加藤秀繁日記	第4日曜日 初回：5/24	どなたでも	輪読・ 講座形式	加藤秀繁日記の原物写真がテキストです。それを活字にしたプリントもお配りします。そして、原文から直接読む方も、それを聴いて当時のようすを知る方も、最後は読み解くためのフリートークで、武士加藤秀繁の仕事と暮らしを知る古文書講座です。	江戸詰になった石川家家臣で年寄の加藤秀繁は、殿様や奥様、先代、先々代の奥様への出仕や、上野、本所、箕輪と散在する石川家屋敷への同道のほか、他の大名家との行き来などで、とても多忙な日々を送っています。今年度は天保十三年（1842）四月の記事からです。途中からでも存分に読める江戸詰武士の日々を、どうぞお楽しみください。
村町の古文書を読む	第4土曜日 初回：5/23	古文書の基礎を 学ばれた方	輪読形式	順番に輪読しながら、そこにどんな事が書かれているのか、みんなでわいわい意見を出し合い、楽しく内容を読み解きます。輪読が不安な方でも、心配ご無用。講師がそのつとちゃんとフォローします。気がついたら読めるようになっていた、そんな講座です。	市域に残る近世・近代の村や町に関するいろいろな古文書を読んでいきます。2年度の最初のテキストは、領主から村々へ伝達された内容を記した「弘化二年三月 御口達之写」です。

古代史講座

講座名	日程	対象	形式	内容	持ち物
一緒に読もう 古代史料教室	第2土曜日 初回：5/9	どなたでも	講座形式	テキストとなる史料を読み、解説を行います。漢文史料に出てくる漢字の語句や意味を漢和辞典でひきながら、ゆっくりと読み進めます。	『日本書紀』に書かれた日本武尊の記事をとりあげます。今年度は、景行天皇四十年是歳条に記される日本武尊が能褒野で死す場面を読んでいます。

共通事項

開講日時 5月～12月、午後1時30分～午後3時

定員 古文書解読基礎講座：30名、その他：36名

申込方法 令和2年4月1日（水）～4月30日（木）まで、博物館へお電話（0595-83-3000）でお申し込みください。